

■資料

「史跡等を活かした地域づくり・観光振興」事前アンケート調査の実施・結果

1. アンケート調査概要

(1) 経緯・目的

平成29年遺跡整備・活用研究集会「史跡等を活かした地域づくり・観光振興」の開催に際し、全国の文化財部局において、地域づくり・観光に関わるいかなる職務が発生し、いかなる役割が求められているのか、具体的な課題や問題点とともに把握・整理し、研究集会での議論をより深めることを目的に、事前アンケート調査を実施した。

(2) アンケート項目内容

本研究集会テーマに関連した地方公共団体における動向として、大きく以下の点について着目し、アンケートの大項目とした。

0. プロフィール

1. 近年の文化財、特に記念物を巡る保存や活用の状況について
2. 文化財の保護に関わる組織体系について
3. 文化財担当職員の職務と連携
4. 文化財の保存と管理活用における民間・行政の在り方について
5. 今後の文化財活用の取り組みについて

0. プロフィールでは、回答者の所属する地方公共団体の人口、財政規模、文化財担当職員数、指定文化財の数によって、回答内容の傾向が異なることが予想されたため、回答当時現在の基本情報を記載いただいた。1. ～5. の回答は、本アンケートが統計的な集計を前提としない方法を採用しているため、基本的に記述式とした。配布したアンケート様式は、次頁に掲載する。

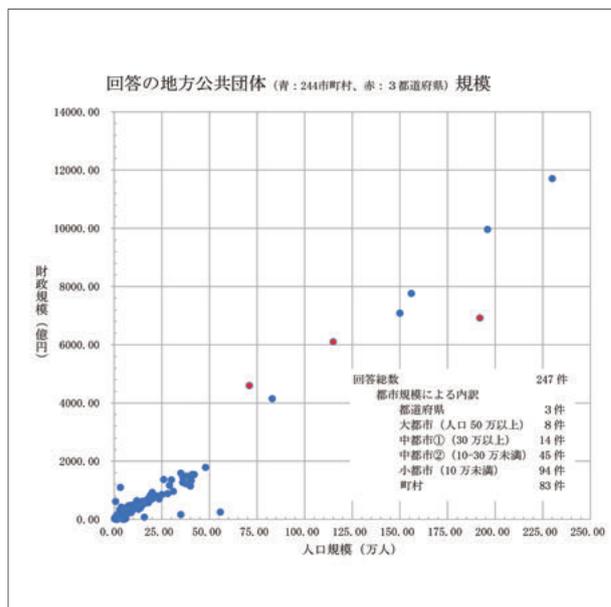


図1 回答の地方公共団体規模
(青：244市町村、赤3都道府県)

なお、アンケート内容については村上裕道氏（文化庁）、杉本宏氏（京都造形芸術大学）、入佐友一郎氏（福岡県）からご意見を頂いた。

(3) アンケートの配布、回答の方法

アンケート様式および概要説明書を、平成29年9月上旬に各都道府県文化財部局に送付し、市町村の該当部局への配布を依頼した。回答は、各都道府県・市町村の各部局が任意でおこない、遺跡整備研究室に直接提出することとし、同年12月13日までに提出があったものについて、集約した。

(4) 回答数・回答者の都道府県・市町村の傾向

回答は、提出総数247件を得た。

回答のあった地方公共団体の人口・財政規模・内訳は、図1に掲載したとおりである。

■項目 1. 近年の文化財（記念物）の保存・活用の状況

1-1. 地域づくりや観光等を目的とする文化財の活用に関わる職務は発生していますか。

はい 160件

いいえ 87件 （総数247件、無効0件）

地域づくりや観光等の活用における職務内容

・文化財の保存活用・活用（現所変更・公開対応・施設運営等）	44件
・企画立案・実施（観光活用の企画・イベント・講座・ツアー・スタンプラリー等）	43件
・文化庁補助事業の史跡等の保存活用計画や整備計画の策定、整備事業	32件
・観光イベントの講師・協力（講座・講演会・ツアー）	32件
・学校・NPO・自治会・他市町村等との連携に関わる業務	27件
・日本遺産に関わる業務	21件
・観光パンフ・マップの作成	18件
・観光プロモーション（PR動画の作成、メディア取材対応、SNS）	19件
・人材育成（観光ガイド・ヘリテイジマネージャー・語り部）	14件
・観光インフラ整備（説明板・wifi・ルート）	13件
・歴史文化基本構想・歴史的風致維持向上計画に関わる業務	13件
・観光計画への助言	2件
・世界遺産に関わる業務	1件
・クラウドファンディング・民間資本による活用・整備	1件

地域づくりや観光等の活用における問題・課題

・部局間の連携、補助金の一体的運用	43件
・所有者・地元住民との連携・意識共有	37件
・文化財専門職の人材不足	33件
・保存と活用のバランス	18件
・観光インフラの不足	16件
・PR不足	13件
・活用に関する全体計画の欠如	10件
・文化財の価値の表現・伝達方法（ローカルな価値、集客のための価値）	9件
・事業の継続性	8件
・観光資源としての価値づけするための方法	7件
・人材の高齢化	7件
・文化財担当者の職掌	5件
・施設の老朽化・不足	4件

・未整備遺跡・非公開文化財の取扱い	4件
・事業のスピード感のズレ	4件
・住民生活との両立	4件
・費用対効果のバランス	4件
・外国語対応の困難さ	3件
・バリアフリー対応	3件
・集客数・施設利用者の増加実績	3件
・活用施設の規模（教育施設と観光施設）	2件
・周辺自治体との連携	2件
・地域づくり・観光に重点がおかれていない	2件
・補助金の一体的運用	1件
・広域的な整備・連携	1件
・地域づくりの位置づけから文化財が外れた	1件
・財源の確保	1件

保存に関わる問題

・特になし	79件
・人員不足	16件
・予算不足	14件
・保存と活用とのバランス	11件
・文化財のき損	10件
・安易な現状変更の要望・手続き不備	8件
・文化財の維持管理	7件
・観光・地域づくり業務の肥大化	5件
・未指定文化財・市町村文化財の保護	5件
・観光活用のための整備（物販や駐車場整備、バリアフリー）	3件
・部局間の連絡調整	3件
・所有者代替わりによる意識継続	3件
・所有者・住民の生活との両立	3件
・文化財の耐震	2件
・適切なインフラ整備	2件
・全体計画・個別計画の欠如	2件
・民俗文化財の継承	2件
・住民の理解不足	2件
・無秩序な活用施設の乱立	1件
・予算不足による文化財の解体・撤去	1件
・公共事業と保存の調整	1件
・周辺市町村との調整	1件

・震災復旧にかかる所有者の費用負担増による復旧が困難	1件
・市外在住所有者の増加	1件
・所有者不在	1件
・活用計画の先行	1件
・調査・整備計画策定に十分な時間がかけられない	1件
・個人所有文化財の収入不足	1件
・活用に関する情報の事前把握	1件
・不十分な現状変更調整	1件

外国人旅行者の増加による影響と対策

(増加傾向と影響の有無)

・影響なし	103件
・増加傾向	14件
・増加傾向、影響あり	2件
・その他観光施設への増加	2件
・一部の遺跡への増加	1件
・観光部局が対応している	4件

(対策)

・看板・案内板を多言語化	23件
・パンフを多言語化	22件
・HP/アプリの多言語化	8件
・外国語スタッフの養成・配置	5件
・音声ガイドを多言語化	3件
・立ち入り禁止サインの多言語化	2件
・外国人対応マニュアル作成・研修	1件
・トイレ施設整備	1件
・海外メディアの利用	1件

(課題等)

・多言語化未整備が課題	12件
・ガイド養成が課題	3件
・多言語化したものの利用頻度が少ない	1件

1-2. 文化財を地域づくり・観光振興等に活用するメリット・デメリットは何だと思いますか。

メリット

・住民の理解促進、地域愛着、保護へ意識向上	111件
・文化財の認知度を高める	61件

・地域の特色の創生・発信	45件
・地域コミュニティ活性化	31件
・集客・交流人口拡大	28件
・文化財の保護・保護意識向上	27件
・地元への経済効果	22件
・文化財継承への貢献・後継者の育成	21件
・学校教育・地域史理解に役立つ	12件
・財源の確保に有利（補助金の選択の幅）	10件
・行政内部での文化財保護活用の機運醸成	8件
・文化財の価値づけ・整備活用の機会	8件
・他部局連携による一体的・多面的な整備活用	7件
・観光収入による維持管理費・事業費のねん出	6件
・雇用の創出	2件
・市民協働の機会	2件
・歴史的風致維持向上	1件
・メリットの実感なし	1件

デメリット（懸念も含む）

・毀損・汚損のリスクが高まる、防犯保全対策が必要	72件
・活用重視による保護意識の薄れ	43件
・文化財の過剰活用による劣化	27件
・文化財本来の価値の担保が難しい	17件
・保存に影響する要望・規制に対する批判が出る	14件
・職員増員・体制整備が必要になる	13件
・住民・所有者の生活の侵害・周辺環境の悪化	12件
・費用がかさむ・費用の維持	12件
・一過性となりがちで、事業の継続性の維持が難しい	9件
・文化財に関する誤った情報が発信され、正しい情報を伝えられない場合がある	9件
・活用が優先され、調査・保存に係る仕事を手薄になる	8件
・安易な価値づけの情報発信に陥りやすい	8件
・大幅な観光客増による便益施設整備の必要が発生	7件
・維持管理費が増大（観光収入とのバランスがとりにくい）	6件
・集客・費用対効果が要求される	5件
・関係者への専門知識の教育・ガイドラインが必要	3件
・観光客にばかり気をとられ、地元住民から文化財が乖離する	4件
・見栄えのしない文化財がないがしろにされる	3件
・文化財の価値に関係のない整備・活用に陥る	3件
・開発を否定していると捉えられてしまう	1件

- ・ SNSなどによる非公開情報流出の懸念 1件
- ・ 所有者との調整が必要 1件
- ・ デメリットは感じない 3件

1-3. 下記の計画等の取り組み状況を教えてください。

	策定済	策定中	策定予定	未策定	回答総数
歴史文化基本構想	17	14	11	194	236
歴史的風致維持向上計画	14	4	9	208	235
日本遺産	38	28	22	151	239
世界遺産	12	14	4	205	235
そのほか	68	17	26	118	229

そのほか → 史跡等の個別の保存活用計画、整備基本計画等

1-4. 文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」あるいはこれに類する他省庁の補助事業等を利用したことがありますか。

ある 107 件 ない 138 件 （回答総数245件、無効2件）

○文化庁補助金

【国宝重要文化財等保存整備費補助】		20件
(内訳)	史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業（H23-24）	1件
	地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業（H25-26）	2件
	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（H27-）	6件
	地域の特色ある埋蔵文化財活用事業（H27-）	9件
	内訳不明	2件
地域伝統文化総合活性化事業（H22）		1件
文化遺産を活かした地域活性化事業（H25-28）・文化遺産総合活用推進事業（H29）		75件
伝統文化親子教室事業（H26-）		2件
日本遺産魅力発信推進事業（H26-）		1件

○その他、他省庁の補助金

- 地方創生推進交付金（内閣府）
- 文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」
- 社会資本整備総合交付金
- まちづくり交付金
- 市内町家等再生事業
- 都市再生整備計画事業

個性ある地域づくり事業

集約促進景観・歴史的風致形成推進事業

■項目2. 文化財保護に関わる組織体系

2-1.文化財保護部局が教育委員会から首長部局（文化財担当課等）への組織替えはありましたか。

はい 20 件

いいえ 226 件（回答総数246件、無効1件）

時期

平成1～10年 2件

平成11～20年 5件

平成21～25年 7件

平成26～29年 5件

理由

- ・文化財を観光に生かすため 3件
- ・世界遺産登録にかかる事務連携 3件
- ・文化財部局と都市計画部局の連携のため 2件
- ・文化財の公開活用を促進するため 2件
- ・文化財保護事務の効率化のため 1件
- ・観光見学者急増によるトラブル回避の体制をとるため 1件
- ・文化振興事業との事業の一括化 1件
- ・政令市移行に伴う組織改編 1件
- ・教育委員会との切り分け 1件

長所

- ・他部局との連携がとりやすくなった 8件
- ・意思決定の迅速化 4件
- ・文化財が紹介・活用される機会が増えた 2件
- ・市政において文化財行政に対する理解が深まった 1件
- ・イベントでの連携が容易で広報力も優れている 1件
- ・他部局との連携により視野が広がった 1件
- ・直営で埋蔵文化財業務ができる 1件
- ・民間の団体とのかかわりができた 1件
- ・イベント情報の共有が迅速にできるようになった 1件
- ・メリットがなかった 2件

短所

・首長部局と教育委員会双方への手続きが必要となり事務が煩雑	7件
・業務が増加し、文化財保護業務が手薄になる	4件
・教育と切り離された	2件
・レファランスの際、担当があいまいになる	1件

2-2.首長部局との併任、人事交流などはありますか。

併任・異動ともあり 4件 併任あり 14 件 異動あり 55件 なし 140件

■項目3. 文化財担当職員の職務と他部局との連携

3-1.地域づくりや観光振興においてどのような役割が文化財保護部局あるいは文化財担当職員に求められていると思いますか。

・文化財に関する専門知識を生かしたコンテンツ・情報提供（精確・平易）	88件
・保存・活用を両立させる運用の判断・助言	51件
・文化財の保存管理・整備	41件
・地域の潜在的な資源・価値の発見・顕在化	37件
・他部局との連携・調整	37件
・活用事業提案・実施	35件
・情報発信	31件
・民間関係者との連絡調整・助言	28件
・調査研究	25件
・普及啓発	17件
・地域づくり活性化施策	10件
・ガイド・人材育成	8件
・テーマ性・ストーリー性のある価値づけ・活用提案	8件
・事業計画の策定・事業の実施	7件
・観光・地域振興事業への理解・積極的参加	6件
・集客のための工夫・施策提案	5件
・文化財周辺の環境づくり	4件
・観光客のニーズ把握	2件
・費用対効果の判断	1件
・事業費用確保	1件

- ・ 災害復旧 1件
- ・ 観光施策立案 1件
- ・ 文化財の価値を活用によって高めること 1件
- ・ 職員の確保 1件
- ・ 文化庁・県との連絡調整 1件
- ・ 地域経済への貢献 1件

3-2.文化財保護部局はどのような部局と連携・協働していますか。また、どのような部局と連携・協働が必要と思われますか。

既連携相手先		望ましいと思う連携先			
観光部局	184	観光部局	190		
地域振興部局	110	地域振興部局	168		
森林保護部局	37	森林保護部局	74		
企画部局	88	企画部局	151		
スポーツ部局	27	スポーツ部局	45		
その他	都市計画部局	24	その他	都市計画部局	22
	建設部局	14		学校教育部局	13
	文化振興部局	8		建設部局	11
	公園部局	5		公園部局	6
	学校教育部局	4		文化振興部局	5
	農林水産部局	4		農林水産部局	4
	環境部局	3		環境部局	4
	土木部局	2		福祉部局	3
	市民部局	2		市民部局	3
水道・商工・国際交流・福祉・広報	各1件	広報・財政・総合政策・防災	各1件		

項目4. 文化財の保存管理活用における行政・民間のあり方について

4-1.史跡等の整備・維持管理・活用について民間の力を借りて行っている事例がありますか。

はい 141 件 いいえ 106 件 （回答総数247件）

民間委託・協働の業務内容

維持管理	123件	施設運営	28件	活用イベント	27件	案内・ガイド	21件
整備事業	16件	調査	4件	広報	4件	計画策定	2件
販売・商品開発・施設経営	各1件						

4-2.史跡等を活かした地域づくり・観光振興において、行政（国・都道府県・市町村）、民間の役割はどうあるべきと思いますか。お考えのある場合は記してください。

国の役割

・補助金の交付（柔軟な制度・長期的事業）	92件
・指導助言	29件
・先進事例紹介・情報共有	23件
・ガイドライン作成	21件
・法令整備	14件
・保存と活用の調整	8件
・文化財の周知	7件
・他省庁との調整	7件
・文化財保護理論の確立・文化財の価値の表明	6件
・研修の実施	6件
・文化庁予算の確保	5件
・海外発信	3件
・現状変更の許認可	1件
・広域的事業への積極的関与	2件
・悉皆的調査・公表	2件
・許認可のスピード化	1件
・セキュリティ対策	1件
・文化財保護行政の総合的マネジメント	1件
・地方の意見吸い上げ	1件
・民間への優遇措置検討	1件

都道府県の役割

・補助金の交付・拡大	46件
・指導助言（国より近い存在として）	43件
・広域的事業への調整・仲立ち	28件
・広域的活用事業・ソフト事業の展開	17件
・国の方針・補助金の情報提供	16件
・市町村の情報集約・発信	15件
・市町村への人的援助（特に体力のない市町村）	14件
・先進事例紹介・情報共有	9件
・技術者等人材あっせん	8件
・文化財の周知	7件

・都道府県としての主体的な取り組み	6件
・都道府県内の指針作成	5件
・都道府県指定文化財の保存活用計画策定・活用推進	4件
・研修の実施	4件
・県内文化財の総合的マネジメント	3件
・国への働きかけ	3件
・歴まち計画等の指導人材の登用	1件
・海外発信	1件

市町村の役割

・保存活用にかかわる直接の取り組み	57件
・市民・民間との協働、取り組みの誘導	38件
・地域の文化財の窓口・周知	29件
・関係者との連携・体制づくり	26件
・地域の特徴を理解し生かす取り組み	21件
・事業計画策定	16件
・文化財の現状の把握	14件
・調査研究	12件
・普及啓発	11件
・まちづくり・地域活性化への貢献	8件
・所有者への支援	7件
・人材育成	5件
・事業費確保	4件
・市指定文化財の保存活用	1件
・民間でできないことを担当	1件

■項目5. 今後の文化財活用の取り組みについて

5-1.2020年の東京オリンピック開催を契機として、新たな史跡等を活かした地域づくり・観光振興の取組を考えている場合、具体的に記述ください。

考えている 35件

特になし 212件

・日本遺産の取り組み	8件
・歴史的風致維持向上計画に基づく整備活用事業	4件
・多言語化対応	4件

・スポーツに関する文化財の登録、文化財化	3件
・情報発信の強化	3件
・縄文文化のアピール	3件
・聖火台モチーフへの火焰土器の推薦の運動	1件
・WiFi整備	1件
・外国人専用HPの作成	1件
・シリアル型での日本遺産認定を目指している	1件
・姉妹都市との交流計画	1件
・世界遺産登録20年の記念行事	1件
・歴史文化資源の磨き上げ	1件
・ユニークベニュー活用等による観光集客の促進	1件
・周遊型博覧会の実施	1件
・観光基本計画の策定への対応	1件
・高速道路整備への対応	1件
・整備中の遺跡の整備完了	1件
・遺跡の再整備	1件